



平成 19 年 1 月 26 日

各 位

会社名 アルテック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田中 利浩
 (コード番号 9972 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役 財務・経理担当 尾山 義秋
 (TEL 03 - 5363 - 0926)

業績予想の修正に関するお知らせ

業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 29 日に公表した平成 18 年 11 月期（平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日）

		単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	連結	百万円	36,500	△900	△2,400
	単体	百万円	1,220	75	△2,600
今回修正予想 (B)	連結	百万円	36,560	△1,328	△3,342
	単体	百万円	1,222	105	△4,099
増減額 (B-A)	連結	百万円	60	△428	△942
	単体	百万円	2	30	△1,499
増減率	連結	%	0.2	—	—
	単体	%	0.2	40.0	—
ご参考：前期実績	連結	百万円	32,671	△758	△767
	単体	百万円	1,280	34	199

2. 修正の理由

連結

連結業績につきましては、売上高については、ほぼ予想通りとなる見込みであります。しかしながら、経常損益については、お客様に納入した廃棄物洗浄機械及び污水处理機械における処理能力不足等のクレーム対応費用が概算 700 百万円からさらに 113 百万円増加し、813 百万円発生する見込みとなったことなど、当社負担の付随原価項目が見込みを大幅に上回り売上総利益が 324 百万円悪化する見込みであります。また、貸倒引当金を 42 百万円計上したほか、一般経費が見込みを 62 百万円上回ることにより、販売費及び一般管理費が総額で 104 百万円増加する見込みであります。この結果、経常損益は、前回業績予想を 428 百万円下回り 1,328 百万円の損失となる見込みであります。

当期純損益につきましては、前回業績予想においては中国蘇州現法の製造設備の減損損失を概算 1,100 百万円計上することを予定しておりましたが、これに加えて中国広州現法の製造設備についても事業計画を変更したことに伴い 436 百万円の減損損失を計上することになりました。また、国内の展示場・倉庫及び福利厚生施設についても保有目的を事業用から売却予定に変更したことに伴い 266 百万円の減損損失を計上し、減損損失計上額が 703 百万円増加し総額 1,803 百万円の見込みとなりました。これらの結果、当期純損益は、前回業績予想を 942 百万円下回り、3,342 百万円の損失となる見込みであります。

単体

単体業績につきましては、売上高については、ほぼ予想通りとなる見込みであります。経常利益については、販売費及び一般管理費が前回業績予想より 10 百万円減少したこと、営業外損益において為替差損益及びデリバティブ評価損益が 20 百万円改善したことなどにより、前回業績予想を 30 百万円上回り 105 百万円となる見込みであります。

当期純損益につきましては、前回業績予想で計上しました海外現地法人 3 社(スイス、上海、蘇州)への出資の評価減に加え、業績悪化に伴うアルテックエーアールエス(株)の株式評価損 381 百万円及び製造設備の減損損失を計上したことに伴う広州現法の出資金評価損 848 百万円並びに国内の展示場・倉庫及び福利厚生施設について減損損失 266 百万円を新たに計上することとなる見込みであります。これらの結果、当期純損益は、前回業績予想を 1,499 百万円下回り 4,099 百万円の損失となる見込みであります。

以 上